

本日の
プログラム

北海高校インターアクトクラブ活動報告 北海高校インターアクトクラブ

HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE～ファイターズが取り組む持続可能なまちづくり～

(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメント事業統括本部 事業企画部部長 小林 兼氏

北海道日本ハムファイターズは2023年3月に「北海道ボールパークFビレッジ」を北広島市に開業いたします。最良のプレー環境や多様な観戦環境を実現する新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」を中核に、32ヘクタールもの広大なエリアで目指すのは、野球を観戦するための単なる新球場ではなく、事業パートナー・ファン・地域の皆さまと一緒に地域社会の活性化や社会貢献につながる「共同創造空間」です。北海道の価値とスポーツの価値の融合・野球事業と非野球事業のMIX球場を核とした優良プラットフォームの構築などの様々なアプローチを通じて、国内需要のみならず77億人のグローバルマーケットに切り込むことを強く意識しています。また、プロジェクトに賛同する産官学様々なパートナーシップによる持続可能なまちづくりを目指し、特に地域社会の未来を担う「子ども」の多様な選択肢と成長に寄与する活動に注力して参ります。具体的には、小学生以下の子どもの新球場への入場無料化・災害時にも役立つ球場として広域避難場所としての活用などが決定しています。新球場には既成概念を覆す様々な仕掛けが用意されており、世界最大級のビジョンを活用した演出・レフト後方に設置されるTower11での温泉・サウナに入りながらの観戦・北海道が誇る豊かな食を楽しめるフードホールの展開・センター後方に設置されるビール醸造所で作られるクラフトビールを飲みながらの解放感溢れる観戦・他の球場とは一線を画すプレミアムエリアでラグジュアリーな観戦体験を用意しております。球場外で展開される事業の具体例として、自然の中での宿泊を楽しむグランピング施設や貸し切りヴィラ・バーベキューや焚き火などのデイキャンプ・クボタと協創する農園エリア・世界的自転車メーカーのスペシャライズドと一緒に取り組むサイクルツーリズム・ノースフェイスの直営アウトドアショップ・ポーネルドが運営する国内最大級のキッズパーク・幼保一帯型の認定こども園・118戸のマンションや290室のシニアレジデ

ンスとメディカルモールがあります。これらの様々な事業同士の掛け合わせ、更には地域の魅力との掛け合わせによって、地域のみならず道外、国外から訪れる多くの観光客の方々にも北海道の魅力を体感していただけるような施設を目指しております。また、観光面においては北海道各地の魅力の発信する「ショーケース機能」や自転車・バス・キャンピングカー・ヘリコプターなどの様々な交通手段を提供する「観光ハブ機能」を設備し、観光拠点としての活用にも取り組んでいますが、非試合日のMICEの誘致やワーケーションなどビジネス視点でのボールパーク活用もご用意いたします。そのほか、春のお花見・夏のアウトドアフェス・秋の収穫祭・冬のスノーパークなど北海道の自然を体感できる四季折々のイベントの開催により、多様な層の集客や地域コミュニティの育成にも取り組んで参ります。周辺エリアにおいても、JR北広島駅の西口開発、新駅設置および駅前開発などと連動することで、エリア全体の価値向上を目指しており、既に地価上昇率で北広島市の数地点が全国トップにランクインするなど脚光を浴びております。来年3月30日に新球場での開幕戦を迎えますが、野球への興味の有無に関わらず、多くの方々にご来場いただけますと幸いです。また、異業種との連携につきましても積極的に進めておりますので、気軽にお声掛けをいただけますと幸いです。



2022-23年度 国際ロータリーのテーマ

「イマジンロータリー」

国際ロータリー会長：ジェニファー・ジョーンズ

■本日のロータリーソング

奉仕の理想

